

第 65 回(平成 28 年度)横浜文化賞 受賞者決定 贈呈式・記念コンサートに市民の皆様(250人)をご招待

横浜市の最高顕彰である横浜文化賞の今年度の受賞者が決定しましたので、お知らせします。受賞者は、平成28年8月29日に開催された横浜文化賞選考委員会(委員長:窪田吉信公立大学法人横浜市立大学学長)で選ばれました。

平成28年11月17日(木)に贈呈式を開催し、記念コンサートに、市民の皆様250人をご招待します。

1 受賞者

(1) 横浜文化賞

芸術、学術、教育、社会福祉、医療、産業、スポーツ振興等の文化の発展に尽力し、その功績が顕著な方々 (各部門別 50音順、敬称略) (年齢は、9月24日現在)

部門	分野	氏名	年齢	職業等
文化・芸術部門	美術振興・学術	たなべ 哲人 田邊 哲人	73 歳	宮川香山研究者・コレクター
社会貢献・スポーツ部門	技能文化	すずき 榮治 鈴木 榮治	70 歳	和裁士、横浜マイスター
	社会貢献	まつなが はる春 松永 春	87 歳	(一社)赤い靴記念文化事業団 団長
	社会貢献	やまの しんご 山野 真悟	65 歳	(特非)黄金町エリアマネジメントセンター事務局長

(2) 横浜文化賞 文化・芸術奨励賞

文化・芸術部門において、現在活躍中の若年層又は中堅層で、さらに今後の活躍が期待される方々 (50音順、敬称略) (年齢は、9月24日現在)

分野	氏名	年齢	職業等
芸術	かわせ 賢太郎 川瀬 賢太郎	31 歳	指揮者
文化	くりす よしえ 栗栖 良依	38 歳	(特非)スローレーベル理事長・ディレクター

2 贈呈式・記念コンサート

平成 28 年 11 月 17 日(木)に横浜みなとみらいホール小ホールで贈呈式と、記念コンサートを開催します。この贈呈式・記念コンサートに、抽選で市民の皆様(250人)をご招待します(別添チラシ参照)。

記念コンサート:大江馨(平成26年度横浜文化賞文化・芸術奨励賞を受賞)によるヴァイオリンコンサート

お問合せ先
文化観光局文化振興課長 山本 譲治 Tel 045-671-3703

横浜文化賞

—【文化・芸術部門】—

1 田邊 哲人

宮川香山研究者・コレクター

明治期の博覧会等で、「マクズ・ウェア」の名で世界的な名声を博すも、優れた作品の国外流出や戦災の影響で、戦後、久しく忘れられた存在であった横浜発祥の真葛焼を永年にわたり研究。極めて質の高い真葛焼コレクションを形成した。築いたコレクションを惜しげもなく、数々の展覧会に積極的に出品したことが、その緻密な絵付けや彫刻的装飾が施されたデコラティブな作品の再評価へ繋がり、明治期の陶磁器研究を加速させた。



<真葛焼>

初代宮川香山（1842（天保13）年～1916（大正5）年）が横浜で窯を構えて始めた焼物。19世紀後半、万国博覧会では、陶磁器など日本の工芸品が好評を博し、各国でのジャポニスムブームのきっかけを作ったが、中でも香山の作品は、リアリスティックな動物や植物の彫刻を壺や花器などと合体させた「高浮彫（たかうきぼり）」という装飾的な作風で、「マクズ・ウェア」の名で世界を席卷した。



—【社会貢献・スポーツ部門】—

2 鈴木 栄治

和裁士・横浜マイスター

1964（S39）年より和裁一筋の道を歩み続け、2008（H20）年「現代の名工（卓越した技能者）」表彰を受賞、翌年には「黄綬褒賞」を受賞するなど、全国トップクラスの技能を有す和裁師。創作着物の製作に意欲的に取組み、独自の技法を生み出す。

既に200人を超える後進を育成。継承された高度な技能は、技能五輪等で多くの入賞者輩出に繋がっている。



<鈴木氏の生み出した独自の技法>

陽炎仕立て(かげろうじたて)

透ける布地の裏に、紋様のある布を付ける仕立て方で、表から見ると、裏の布の模様が陽炎のように見える。

陽炎仕立て⇒

切嵌象嵌(きりばめぞうがん)

一枚の土台となる布を紋様通りに切り抜き、全く同じ紋様に切り抜いた別の布に嵌（は）め込む技法。



3 まつなが はる 松永 春

(一社)赤い靴記念文化事業団団長

1985 (S60) 年に赤い靴記念文化事業団を設立した後、団長として、地域の文化振興に尽力。児童劇団や合唱団など、子どもたちに数々の活動の場を創出。市民が出演する横浜市民ミュージカル (2012 (H24) 年 中区民ミュージカルを母体に結成) のプロデュースも手掛ける。

青春時代に渡米し、アメリカ文化と映像技術を学び、松竹撮影所に勤務しつつ、戦後の横浜の映像文化にも貢献。赤い靴をシンボルに横浜とアメリカの懸け橋となり、87 歳を超えた現在も同事業団の顔として先頭に立っている。



<赤い靴記念文化事業団の受賞歴>

- 1995 年 (H7) 年 総務庁「社会参加賞」
- 1997 年 (H9) 年 小黒恵子児童合唱音楽振興基金
「花とライオン児童合唱音楽賞」
- 2000 年 (H12) 年 横浜市「横浜文化賞 文化・芸術奨励賞」



2010 年 (H22) サンディエゴの「赤い靴の女の子像」除幕式⇒

4 やまの しんご 山野 真悟 (特非)黄金町エリアマネジメントセンター事務局長

「アートによるまちの再生」をテーマとした企画を多く手掛ける、日本を代表するアートディレクター。

「黄金町バザール」では、まちなかに美術展やワークショップ等を展開させ、まちのイメージを一新。多くの来街者を呼び込んだ。

「横浜トリエンナーレ 2005」、「東アジア文化都市 2014 横浜」など話題性・発信性のある大型企画でも手腕を発揮。国際美術展の新段階を画したことが評価され、2014 (H26) 年度 第 65 回 芸術選奨 芸術振興部門 文部科学大臣賞を受賞。



<黄金町バザール>

特殊な飲食店が軒を連ねた初黄・日ノ出町地区において、空き店舗や高架下を再利用したスタジオやギャラリーを活用した展示や創作を展開。

山野氏は 2008 (H20) 年に当該地区のまちの再生を進める母体である NPO 法人「黄金町エリアマネジメントセンター」を立ち上げ、事務局長に就任。その中心的存在として活躍中。



横浜文化賞 文化・芸術奨励賞

1 かわせ 川瀬 けんたろう 賢太郎

指揮者

2006 (H18) 年東京国際音楽コンクール (指揮部門) で最高位を獲得して以来、国内のオーケストラから次々と招きを受ける、実力と人気を兼ね備えた若手指揮者。

2014 年には神奈川フィルハーモニー管弦楽団常任指揮者に就任。国内オーケストラの常任指揮者としては当時最年少での就任 (29 歳) として話題を呼んだ。

音楽文化の振興を牽引する今後の幅広い活躍が期待される。



©Yoshinori Kurosawa

<受賞歴>

- 2006 (H18) 年 東京国際音楽コンクール<指揮>最高位
- 2015 (H27) 年 「渡邊暁雄音楽基金」音楽賞
第 64 回神奈川文化未来賞
- 2016 (H28) 年 第 14 回斎藤秀雄メモリアル基金賞
第 26 回出光音楽賞



神奈川フィル提供⇒

2 くりす 栗栖 よしえ 良依 (特非)スローレーベル理事長・ディレクター

障害のある方と社会の壁を取り除く活動に次々と精力的に取り組む若手ディレクター。ゆっくりと1つ1つ手作りされる福祉施設でのものづくりと、アーティストの創造性を介在させ、一点物の手作り雑貨ブランド「スローレーベル」を設立。この取組は全国的に注目を集め、他都市での展開に繋がった。

「ヨコハマ・パラトリエンナーレ 2014」では総合ディレクターとして、障害の有無を超えた現代アートの国際展を成功に導いた。

誰もが参加できる市民活動の牽引が期待される。



©Masaya Tanaka

<スローレーベルの活動>

2011 (H23) 年より横浜を拠点とし「マsproダクションからスローマニファクチャリングへ」をテーマに、国内外で活躍するクリエイターと福祉施設を繋げ、それぞれの特色を活かした新しいものづくりのプラットフォーム開発に取り組む。

機械でつくるマsproダクトではなく、作る人それぞれの個性をいかしたマニファクチャリング。大量生産のための手法ではなく、スローな手法で1点もののモノづくりを行う。

スローレーベル製品はすべて1点もの⇒



The 65th Yokohama Cultural Awards Anniversary Concert

第65回横浜文化賞

贈呈式 記念コンサート

2016.11.17(木)

[会場] 横浜みなとみらいホール 小ホール

[開場] 13:10 [開式] 13:30 (15:00 終了予定)

[出演] 大江 馨 (ヴァイオリン)、山西 遼 (ピアノ)

※やむを得ない事情により、出演者・曲目が変更になる場合があります。
予めご了承ください。

[演奏曲]

エルガー／愛の挨拶

クライスラー／美しきロスマリン

クライスラー／愛の喜び

サラサーテ／ツイゴイネルワイゼン

ドヴォルザーク／ユーモレスク

モンティ／チャルダッシュ

250名様
無料ご招待

[主催] 横浜市 [後援] 横浜アーツフェスティバル実行委員会 横浜音祭り2016パートナー事業



第65回横浜文化賞の受賞の皆さま

【横浜文化賞】

〔文化・芸術部門〕 〔社会貢献・スポーツ部門〕



田邊 哲人
宮川香山研究者
コレクター



鈴木 榮治
和裁士
横浜マイスター



松永 春
赤い靴記念文化事業団
団長



山野 真悟
黄金町
エリアマネジメントセンター
事務局長

【横浜文化賞 文化・芸術奨励賞】



川瀬 賢太郎
指揮者



栗栖 良依
スローレーベル理事長
ディレクター

横浜文化賞とは

横浜市では、1952年（昭和27年度）から、芸術、学術、教育、社会福祉、医療、産業、スポーツ振興などの文化の発展に尽力し、その功績が顕著な方々に「横浜文化賞」を贈呈してきました。また、1991年（平成3年度）の第40回からは、現在活躍中の若年層又は中堅層で、さらに今後の活躍が期待される方々に「横浜文化賞 文化・芸術奨励賞」を贈呈してきました。

プログラム

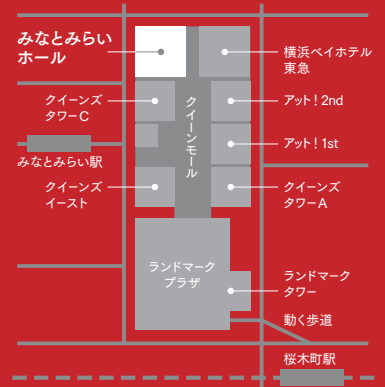
第1部 式典（市歌斉唱、受賞者紹介、賞贈呈など）／第2部 記念コンサート（約30分）

アクセス

横浜みなとみらいホール

横浜市西区みなとみらい2-3-6
クイーンズスクエア横浜

- みなとみらい線
「みなとみらい駅」徒歩3分
- JR・市営地下鉄
「桜木町駅」徒歩12分



記念コンサート 出演者

大江 馨 (ヴァイオリン)

第82回日本音楽コンクール第1位、併せて増沢賞他全賞を受賞。第63回全日本学生音楽コンクール高校の部全国大会第1位。2014年度横浜文化賞文化・芸術奨励賞受賞。2014・2015年度ロームミュージックファンデーション奨励賞学生。NHK交響楽団、東京フィル、新日本フィル、神奈川フィルなど共演多数。現在ドイツのクロンベルクアカデミーにてクリスチャン・テツラフ氏に師事し研鑽を積む。これまでに渋谷由美子、堀正文、漆原啓子の各氏に師事。



©Shigeto Imura

山西 遼 (ピアノ)

第65回全日本学生音楽コンクール高校の部全国大会第2位及び横浜市民賞（聴衆賞）を受賞。2015年ドイツのボーデンゼー夏季国際アカデミーにてカルメン・ピアッツィーニ氏のマスタークラスに参加し、Special Prize（最優秀賞）を受賞。現在、桐朋学園大学音楽学部4年在学。



申込方法

- 【募集人数】 250人
- 【受付締切日】 2016年10月20日(木) ※必着
- 【応募対象】 横浜市在住、在勤、在学の人
※未就学児のご入場はご遠慮ください。
- 【応募方法】 往復はがきに、郵便番号、住所、氏名（ふりがな）、電話番号、希望人数（2名まで）を記入の上、郵送。在勤・在学の方は、勤務先・学校名を記載。手話通訳必要の有無、車いすでの来場の有無、返信面の住所、氏名を明記。
●抽選結果の発送は、11月10日頃を予定。
●個人情報、本事業以外には使用しません。
- 【送付先】 〒231-0017 横浜市中区港町1-1
「横浜市文化観光局 横浜文化賞担当」
- 【問い合わせ】 横浜市文化観光局 文化振興課 TEL.045-671-3714

<input type="checkbox"/> 返信 〒231-0017 横浜市文化観光局 横浜文化賞担当 行	<input type="checkbox"/> 返信 〒000-0000 お申込者の 郵便番号・住所・氏名	<ul style="list-style-type: none"> ●住所 ●氏名 ●電話番号 ●希望人数 ○人(2人まで) (市内在住でない方は) ●勤務先又は学校名 <p>以下は、該当者の方のみご記入ください</p> <ul style="list-style-type: none"> ●手話通訳必要 ●車いすで来場します
--	---	--